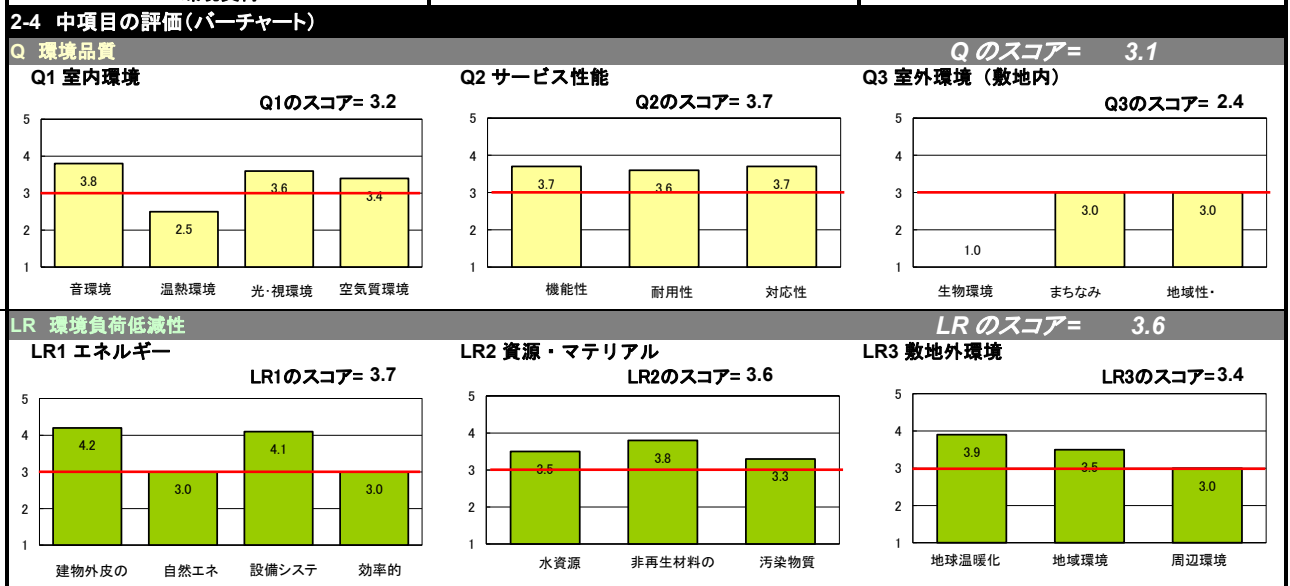
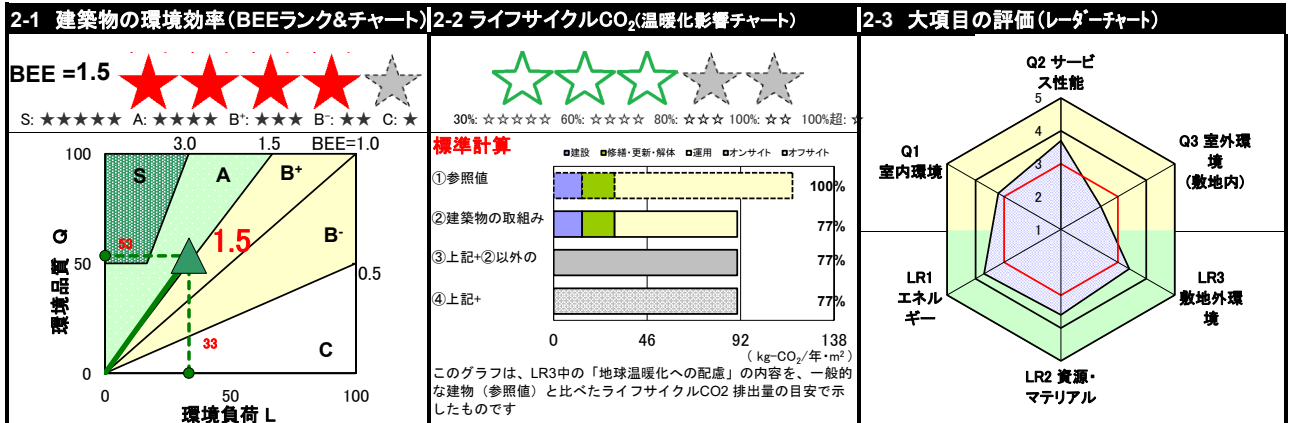


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅前4丁目オフィスPJ	階数	地上8F、地下0F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目4-21	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,355 人
地域区分	7地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年3月31日
敷地面積	810 m ²	作成者	八木英彦
建築面積	647 m ²	確認日	2025年4月7日
延床面積	5,129 m ²	確認者	大岩 大志



3 設計上の配慮事項		
総合 福岡市博多区に建設されるオフィスビルの計画である。利用者の快適性向上のための配慮計画に加え、高効率設備の採用による省エネ設計や、水・材料等の省資源への取り組みで地球環境にも十分配慮した計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建築材料を採用し、換気量は法定換気量の1.2倍以上を確保するなど、空気質環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い仕上げ材や配管材を採用し耐用性向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 外観の色彩や位置の配慮を行っている。
LR1 エネルギー 高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材を使用することで省資源に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される